

国土交通大臣 齊藤 鉄夫 様

**知床沖における観光船海難事故
に関する緊急要望**

令和4年5月

北海道

令和4年4月23日午後、知床岬西側カシュニの滝付近海域において、知床遊覧船所有の観光船「KAZUI（カズワン）」の海難事故が発生し、昼夜を問わず関係機関において、地元漁業者等の協力もいただきながら、安否不明者の捜索が行われておりますが、今なお乗船者全員の救助に至っておりません。

国においては、救助活動と並行して、観光船の乗客ご家族に対する相談窓口の開設や、原因を究明するための運航会社への特別監査の実施、また、安全対策の総合的な検討を進めるための「知床遊覧船事故対策検討委員会」を設置するなど、迅速な対応をいただき感謝申し上げます。

北海道においても、国と連携して、捜索救助活動や、ご家族の方々に寄り添った対応を行うことはもとより、道内各地を訪れる方々が安心して観光していただけるよう取り組んでまいる考えであり、今後このような痛ましい事故が二度と繰り返されることがないよう、また、今後繁忙期を迎える北海道観光を支援いただけるよう、以下の事項について対処するよう求めます。

記

- 1 道東と道北の広範囲の海域は、現状、機動救難士等がヘリコプターに同乗し、出動してから1時間で到達することができない状況にあることから、道内航空基地のヘリコプターの増強や、未配置となっている航空基地への機動救難士の配置など、海上保安庁の更なる救助・救急体制の強化を図ること。
- 2 地元自治体として現地対応に奔走している斜里町や捜索活動に協力した地元漁業者等の救助活動経費等の財政負担に対する支援を行うこと。
- 3 今回の海難事故の早急な原因究明と、北海道の気象・海象や事業者の実情を踏まえ、再発防止のための安全対策の検証を行うとともに、引き続き事業者・関連業界への安全運航等の指導を行うこと。
- 4 国は、観光・交通事業者に対して安全運航等の徹底について注意喚起を行ったところであるが、本格的な観光シーズンを迎えることから、引き続きの指導、啓発を行うこと。
- 5 今回の海難事故に起因した、知床を含めた北海道観光のマイナスイメージを払拭するための支援を行うこと。

令和4年5月17日

北海道知事 鈴木 直道